（様式５）

令和２年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	長居公園ほか２施設
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	長居公園・長居運動場・長居植物園の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との各種連絡調整など）
成果指標	長居植物園の来園者数、長居運動場の利用件数、長居公園及び長居植物園の満足度調査結果
数値目標	長居植物園の来園者数　　700,000人以上（年度当初の目標） 長居運動場の利用件数　　1,100件以上（年度当初の目標） 長居公園の満足度調査結果　　80％以上 長居植物園の満足度調査結果　80%以上
指定管理者名	長居公園スポーツの森プロジェクトグループ 【構成員】 （一社）セレッソ大阪スポーツクラブ （一財）大阪スポーツみどり財団 ㈱NTTファシリティーズ ユニベール㈱ シンコースポーツ㈱ モリタスポーツサービス㈱ タイムズ24㈱
指定期間	平成28年４月１日　～　令和３年３月31日
評価対象期間	令和２年４月１日　～　令和３年３月31日

２　管理運営の成果・実績

利用状況

長居植物園	当年度	前年度	前年度比	特記事項
来園者数	534,711人	627,796人	－93,085人	コロナ対策のため前年度は3/3~3/19までの15日間、当年度は4/8~5/15までの23日間休業。 下段は、両年度で休業期間が無かった6～2月の来園者数に基づき前年度比較を実施。
来園者数（6月～2月）	437,658人	430,112人	7,546人	
長居運動場	当年度	前年度	前年度比	特記事項
利用件数	804件	810件	－６件	コロナ対策のため今年度は4/8~5/19までの42日間休業。 下段は、休業期間のなかった6～3月の利用件数に基づき前年度比較を実施。
利用件数（6月～3月）	798件	618件	180件	

成果指標	来園者数（長居植物園）	利用件数（長居運動場）	利用者満足度（長居公園）	利用者満足度（長居植物園）
数値目標	583,333人以上	917件以上	80％以上	80％以上
年度実績	487,947人	798件	97.9%	97.9%
達成率	83.6%	87.1%	122.4%	122.4%

※植物園の達成率については、（休業期間が含まれていない６－３月の10か月間の入場者数）/（年間数値目標700,000×10/12）、により算出

※運動場の達成率については、（休業期間が含まれていない６－３月の10か月間の入場者数）/（年間数値目標1,100×10/12）、により算出

（様式５）

令和２年度　指定管理者年度評価シート

3　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	461,368,613	451,906,501	0	
	計画	461,368,613	523,786,423		
利用料金収入	実績	118,930,843	179,943,293	-24,932,454	新型コロナウイルス感染拡大伴う、緊急事態宣言等による来館者数の減少。
	計画	143,863,297	140,563,296		
その他収入（自主事業収入を含む）	実績	60,953,942	27,724,759	11,983,877	新型コロナウイルス感染症対策にかかる補填のため。
	計画	48,970,065	48,970,065		
合計	実績	641,253,398	659,574,553	-12,948,577	
	計画	654,201,975	713,319,784		

※その他収入の実績について、当年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休業補償6,766,756円を含む

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	113,348,439	88,336,472	11,152,939	スケードボード対策による警備費の増加。
	計画	102,195,500	102,195,500		
物件費	実績	469,359,943	515,053,305	-77,548,032	新型コロナウイルス感染拡大伴う、緊急事態宣言等による経費の減少。
	計画	546,907,975	520,717,379		
その他事業費（自主事業支出を含む）	実績	7,833,880	21,206,075	2,151,040	広告・自販機等の設置に伴う公園使用料の増加。
	計画	5,682,840	34,278,350		
合計	実績	590,542,262	624,595,852	-64,244,053	
	計画	654,786,315	657,191,229		

4　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

なお利用状況の達成率について、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため不要不急の外出自粛を呼び掛けた期間が含まれることを踏まえ評価対象としない。

評価項目	達成率	評価	特記事項
来園者数（植物園）	83.6%	－	休業期間が含まれていない６－３月の10か月間の数字に基づき達成率を算出
利用件数（運動場）	87.1%	－	休業期間が含まれていない６－３月の10か月間の数字に基づき達成率を算出
利用者満足度（長居公園）	122.4%	S	
利用者満足度（植物園）	122.4%	S	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
日常的な節電による省エネや節水に取り組み、光熱水費の削減に努めていた。 維持管理においても、落ち葉の堆肥化や剪定枝のチップ化によるマルチング利用等の工夫を行い、管理経費削減に努めていた。	B	新型コロナウイルスの影響により計画より収入が減ることとなった。 新型コロナウイルス感染症対策の費用の増加があったが、左記の取組等により他の経費の削減に努めたことから、結果的に計画時より経費を削減することができた。

（様式５）

令和２年度　指定管理者年度評価シート

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況であった。 また、園内において発生した不具合箇所の計画的な改善に努めていた。 警備員の増員や24時間巡回警備の強化を図り、事故やトラブルなどの防止に努めていた。特に、スケートボード利用者が増加した為、陸上競技場周辺への防護柵の設置や、警察や公園事務所等と協力して利用が多発する場所を重点的に巡回する等の対策を強化していた。 新型コロナウイルス感染対策として、巡回時に密集回避への注意喚起の強化を行った。
事業計画の実施状況	B	新型コロナウイルスの影響で一般園地で開催予定だった多くのイベントが中止・延期を余儀なくされた。 緊急事態宣言発出に伴う植物園の閉園期間中には、園内で見頃の植物を自宅で楽しんでもらおうと、「#おうちで植物園」と題してSNSで紹介するなど工夫を凝らしていた。 また、天王寺動物園との連携企画としてスタンプラリーを実施するなど、植物園の利用促進に努めていた。
施設の有効利用	B	地域連合町会との公園周辺清掃の実施（月１回）や、地元協議会等と連携した花壇管理（年４回の植え付け）を継続実施していた。 また、植物園では、ボランティアと協力して園芸・運営サポート等を実施し、令和２年度は延べ2,315人に参加いただいた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	電気自動車の活用による排出ガスの削減や、3Rの推進、ヒートアイランド対策などの普及啓発等により、環境への配慮にも努めていた。 個人情報保護に関する取り組みについては、暗号化や保管方法、処分方法等のルールを定め、研修により周知することにより、リスク管理を徹底していた。 人権研修にも取り組んでいた。

５　利用者ニーズ・満足度等

令和２年10月31日（土）から令和２年11月23日（月・祝）にかけてアンケート調査を実施し、353名から回答を得た。総合的な管理運営、樹木や草花の管理状況、園路や広場の管理状況、トイレの清掃状況、案内看板等、スタッフの対応、その他ご意見といった設問を設けた。結果は、園路や広場の管理状況において最も高い99.1％の満足度、トイレの清掃状況において最も低い93.2％の満足度となった。

６　外部専門家意見

施設の規模、市民の生活環境に与える影響の大きさに鑑みて、本年度も継続的に施設の総合的な管理運営水準が一定以上達成されていることの意味は大きい。新型コロナウィルスの感染拡大が激しさを増す環境下にもかかわらず、利用者満足度が高い水準を得ることができたことは高く評価できる。特に、植物園において緊急事態宣言発出に伴う閉鎖期間中においても、SNS等を介して園内で見頃の植物を自宅で楽しんでもらおうという工夫は評価できる。

スケートボードの対策強化については、締め付けるだけでなくどのように共存できるかを検討してもらいたい。

また、知名度がある天王寺動物園とコラボしたスタンプラリーを実施し景品として缶バッジを配布した取り組みは、来園者の増加につながることから評価に値する。今後も引き続きこのような連携事業を次期指定管理者においても実施してもらいたい。

（様式５）

令和２年度　指定管理者年度評価シート

７　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	利用者数についてはコロナの影響もあり成果目標を達成できなかったが、利用者満足度については計画時の目標を大きく上回っていることから評価できる。
市費の縮減	B	新型コロナウイルス感染症対策の費用の増加があったが、経費の削減に努めたことから、結果的に計画時より経費を削減することができた。 しかしながら、新型コロナウイルスの影響による収入減が大きかったため、大阪市への利益配分が発生するまでには至らなかった。
管理運営の履行状況 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 施設の管理運営 事業計画の実施状況 施設の有効利用 社会的責任・市の施策との整合性	B	施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況である。 植物園において緊急事態宣言発出に伴う閉鎖期間中においても、SNS等を介して園内で見頃の植物を自宅で楽しんでもらおうという工夫であったり、天王寺動物園との連携により植物園の利用促進に努めていたことは評価できる。
総合評価	B	概ね水準に達する管理状況であり、高い利用者満足度となる管理運営に努めていた。